

研究協力をお願い

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

【研究テーマ】

「血液培養のみの採取が抗菌薬治療へ与える影響」

【対象となる方】

2021年1月1日から6月30日までの期間に、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院に入院された患者さんのうち、感染症が疑われ血液培養を採取した患者さん。

【研究の意義・目的】

感染症が疑われた患者さんのうち、重症患者さんや重症化する可能性のある患者さんで血液培養を採取することがあります。感染が疑われる部位の検体採取とともに血液培養を行うことで、感染を起こしている微生物に対する薬を適切に選択でき、適切な投与期間で治療することができます。しかし、必ずしも検体採取が可能なのではありません。

そこで、本研究では感染が疑われる部位の検体を採取することができなかった場合の影響について検討します。

【研究の方法】

この研究は、聖マリアンナ医科大学生命倫理委員会（臨床試験部会）の承認を受け、聖マリアンナ医科大学学長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療で診療システムに記録されている細菌検査と抗菌薬の処方情報（処方薬剤名、投与量、処方日数など）を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。得られた抗微生物薬の処方情報を、集計ソフトウェアに入力し、抗微生物薬使用量を診療科別に集計します。

なお、抗微生物薬の使用目的を確認するため、電子カルテシステムに保管されている（感染症の）診断名、細菌培養検査結果、血液検査データなどを参照する可能性も有ります。

すが、その場合も患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集された患者情報や臨床情報等が当院以外の施設へ提供されることはありません。また、データ等は、外部に漏洩することのないよう、慎重に取り扱う必要があります。氏名・患者 ID、生年月日、住所などの患者情報、および患者さんのカルテから収集した臨床情報等は、解析前に代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、薬剤部内のパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。

【お問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、患者情報や臨床情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承頂けない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

所属：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院（薬剤部） 研究責任者：中菌 健一
住所：〒241-0811 神奈川県横浜市旭区矢指町 1197-1 電話番号：045-366-1111